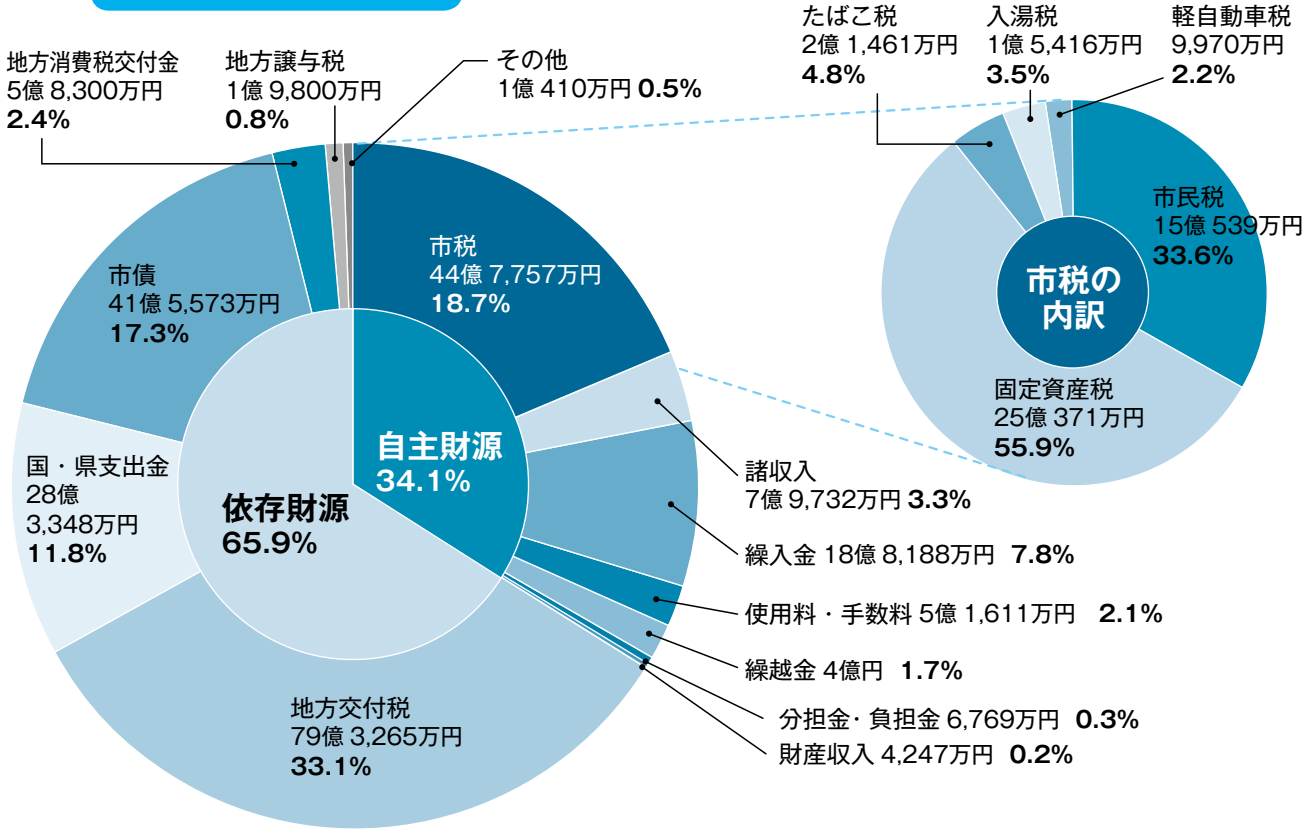
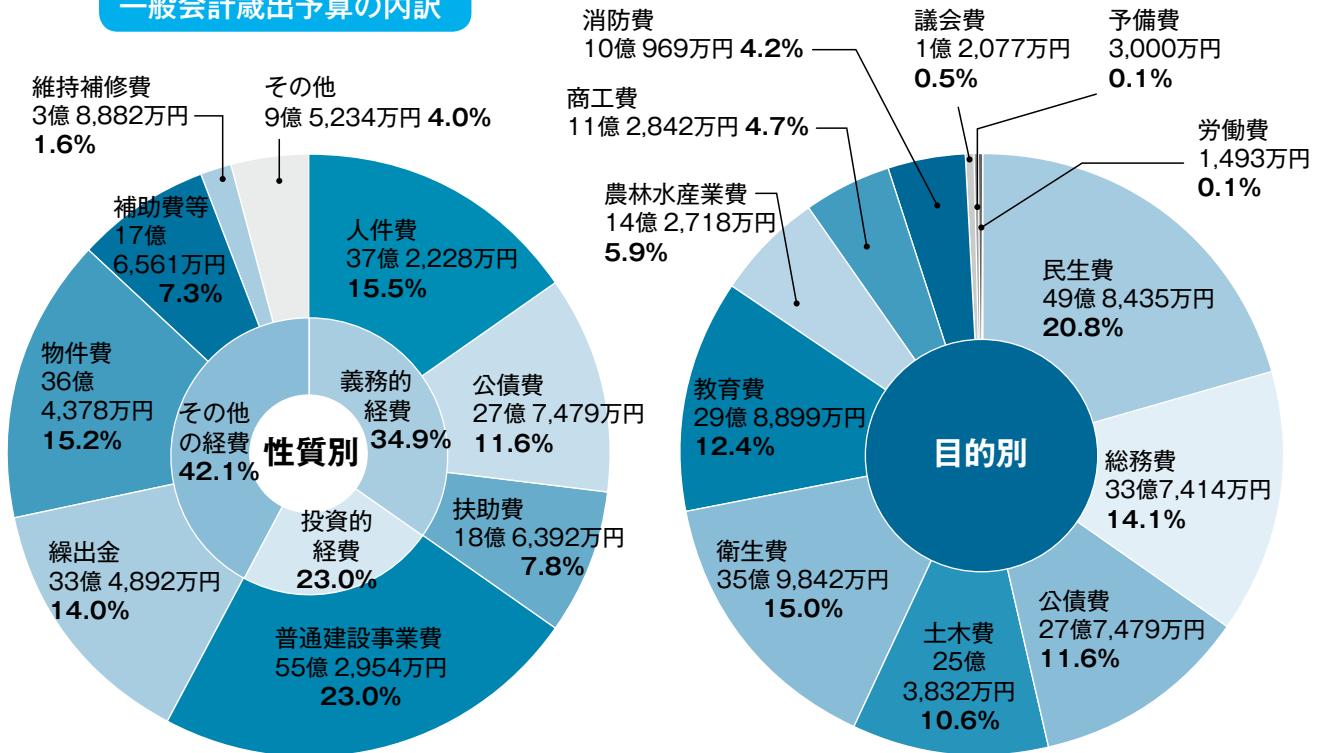


平成30年度予算は一般会計239億9千万円  
特別会計・公営企業会計を含めた総額は378億9,772万円

一般会計歳入予算の内訳



一般会計歳出予算の内訳



## 平成 30 年度予算のポイント

平成 30 年度は合併特例事業債の計画最終年度となることから、新クリーンセンター、北部学校給食センター、下呂庁舎の整備など大規模な事業を計上しています。このため、町村合併から 15 年目となる平成 30 年度予算編成は、一般会計で 239 億 9 千万円と過去最大の予算額となりました。

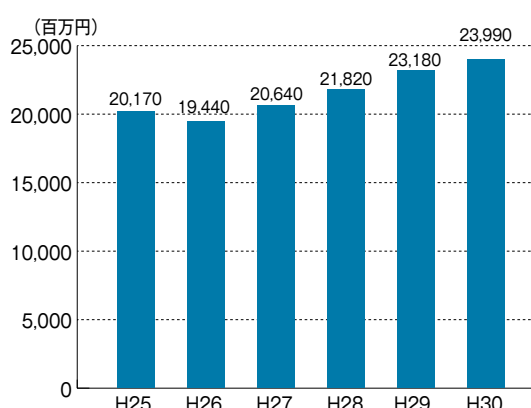
下呂市の最上位計画である第 2 次総合計画の積極的な推進と、市長が掲げる 4 つの基本政策である「若い人や女性が輝き、高齢者の笑顔あふれるまち」、「地域間の融和と伝統あるまち」、「交流から生まれる活気あるまち」、「防災力で安心して住めるまち」の実現のため、キーワードである「健康」に加え、それを地域においても広く波及させるための「つなぐ」を意識した行政運営を行います。

下呂市が抱える喫緊の課題に対応するため、堅実な財政計画のもと、基金・市債の有効活用により、今必要な事業を着実に進めます。

平成 30 年度からは、下呂市の明るい未来に向けて市長の掲げる基本政策を実現するため「市長裁量枠重点実施事業」に取り組みます。この事業は、さまざまな施策の中に組み込まれ、総合計画を着実に推進するための補完事業といった側面も含んでいます。平成 30 年度は、27 事業で総額 5 億 8 千 8 百万円の予算です。

次ページで平成 30 年度の主な実施事業と「市長裁量枠重点実施事業」を紹介します。

## 一般会計当初予算の推移



## 特別会計・公営企業会計 当初予算

(単位:万円)

会 計	H30年度	H29年度	前年度比較		
			増減額	増減率	
特別会計	国民健康保険事業(事業勘定)	375,156	453,091	-77,935	-17.2%
	後期高齢者医療	50,658	48,607	2,051	4.2%
	介護保険(介護サービス事業勘定)	20,704	19,473	1,231	6.3%
	介護保険(保険事業勘定)	346,267	371,428	-25,161	-6.8%
	簡易水道事業	83,460	102,400	-18,940	-18.5%
	下水道事業	242,730	244,360	-1,630	-0.7%
	国民健康保険事業(診療施設勘定)	29,420	27,973	1,447	5.2%
	下呂財産区	240	254	-14	-5.5%
	学校給食費	15,238	15,367	-129	-0.8%
	小 計	1,163,873	1,282,953	-119,080	-9.3%
公営企業会計	水道事業	32,832	32,558	274	0.8%
	下呂温泉合掌村事業	27,680	27,433	247	0.9%
	金山病院事業	166,387	166,881	-494	-0.3%
	小 計	226,899	226,872	27	0.0%
合 計	1,390,772	1,509,825	-119,053	-7.9%	

## 用語解説

- 【歳入】 1 年間の全ての収入
- 【自主財源】 自前で収入できるお金
- 【依存財源】 国や県から交付されたり、借り入れたりするお金
- 【繰入金】 各種基金を取り崩して繰り入れるお金など
- 【地方交付税】 所得税など国が徴収した税金の中から、市町村の財政規模に応じて配分されるお金
- 【市債】 公共施設の建設など、市が一度に多額の出費が必要な場合に認められる長期の借入金
- 【国・県支出金】 国や県の決めたルールにあった仕事をする場合に、必要な費用の一部または全部が補助されるもの
- 【地方譲与税】 国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金
- 【歳出】 1 年間の全ての支出
- 【義務的経費】 法令あるいは性質上、支出が義務付けられた経費
- 【投資的経費】 道路や建物の建設、用地の購入など市民の財産として将来に残るものに支出されるお金
- 【公債費】 借り入れた市債の返済に充てるお金で、元金の返済金とその利息
- 【扶助費】 生活保護費や障がい者への援助費など福祉のためのお金
- 【物件費】 委託料や使用料、光熱水費、消耗品費、備品購入費など
- 【繰出金】 特別会計への繰出金
- 【補助費等】 各種団体への補助金や交付金、保険料、謝礼金など
- 【維持補修費】 施設や道路などの維持補修にかかるお金